

☆ 佐々木ゼミのすゝめ ☆

17JP1047 上坪幹英

☆ はじめに

この紹介文を読んでいる君は、よっぽど勉強に熱心なマジメ君か、少しでも楽なゼミに入りたいと考えているずるがしこい学生のどちらかでしょう(笑)理由はどうであれ、せつかく目を向けてくれた君に担当の先生がどんな人で、どんなことを日々学んでいるかできるだけ赤裸々に伝えようと思います。

☆ 佐々木先生について

我らがゼミの担当者、佐々木雄一先生は東京大学大学院の法学政治学の博士課程を修了したスーパーエリート。佐々木博士と呼びしたほうが正しいかもしれません。近代日本の政治外交を専門とされています。明学には、2019年に赴任された新しい先生です。お顔が熊谷先生に似ていらっしゃるため私もそうだったのですが、最初ビビる方もいらっしゃると思います。しかし、ゼミの発表中話をまとめられず困っているとフォローを入れて言いたかったことをまとめてくださったり、生徒が抱いた素朴な疑問を授業の一部を使ってみんなで議論させてくださったたりと、めちゃくちゃ優しい先生です。御年もお若いため、ジェネレーションギャップを感じることはありません。

☆ 私たちが普段学んでいること

私たちは主に現代政治がいかにメディアと向き合い利用してきたのか、そして誰もが手のひらから情報を発信するようになった今、旧来のメディアと新しいメディアはどう政治に作用しているのかを研究しています。

具体的な授業形式は佐々木先生が毎週選ばれた上記テーマにかかわる文献を翌授業日まで読み、そこから自分でその本の主張に対する意見などをA4紙一枚にまとめ提出します。それを授業で議論したり、時には意見をぶつけ合い討論したりもします。司会進行も生徒が担うため授業は生徒主体のものとなります。先生はこれを優しい微笑みを浮かべながら時に助言を与えてくださったり、議論をさらに深掘りしてくださいます。そして、最後に先生が授業全体を総括して授業は終わります。常に質問やその答えを考えて頭をフル回転しているので授業がアツという間に終わるように感じるはずです。



☆ おわりに

がつつり政治だけに焦点を当てるのではないので政治について知識がない人でも十分にやっつけられるゼミだと思います。先生が生徒にあった授業内容を組んでくださるので自分たちのレベルにあった授業が受けられると思います。私がこのゼミに入ってよかったと思う点は毎



週一冊本を読む習慣ができたことと、みんなで議論することの面白さに気づけたということです。

今、どこのゼミに入ろうか迷っているその君！！佐々木ゼミで待ってるよ！！！！